

# 第35回「議員と語りかい」報告書

総務環境常任委員会 (No.1)

開催日	令和 2 年 1 1 月 1 3 日 (金) 1 4 時 0 0 分 ~ 1 6 時 0 0 分		
開催場所	霧島総合支所 2 階 会議室		
団体名	霧島虎ヶ尾岡メガソーラー建設反対協議会	参加人員	1 2 人 (男 9 人 : 女 3 人)
出席議員	徳田 修和、松枝 正浩、山口 仁美、愛甲 信雄、木野田 誠、 前島 広紀、有村 隆志、前川原正人		
役割分担	班 長 ( 徳田 修和 ) 副班長 ( 松枝 正浩 ) 記録係 ( 山口 仁美 )		
テーマ及び具 体的な内容	霧島田口、霧島大窪に跨る県下最大規模の太陽光発電所建設計画に対する意見交換 ①太陽光発電の動向、霧島市内の実情の共有 ②太陽光発電規制の条例制定、ガイドラインの改訂の要望 ③霧島田口、霧島大窪の太陽光発電所建設計画の情報共有		

	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
意見交換での主な意見等	◆資料に基づき説明。
	◆これから準備書が作られていく。反対の意思は分かっているので、今後どのように阻止できるのかがポイントになる。市議会や行政組織として、どのような手立てをしたら阻止できるのか。
	◇市議会がどうしていくのか以前に、この協議会がどのような活動をしてきているのか知りたい。
	◆地権者が少ない場所がターゲットになり、資金難から競売・転売が行われてきた。 平成30年ごろから頻繁に測量が行われていた。 平成31年に住民対象に勉強会。市長にも情報提供。 平成31年3月反対看板設置。 平成31年市議会に陳情書提出。質問を事業者に発送(回答なし)。 今後、反対運動の決起集会などを実施していきたい。主に別荘を中心とした地域の人たちが活動をしている。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◇いのちとくらしを守る会で署名活動が進んでいるが、協議会との関係性は。

◆霧島の看板を見たりして、メガソーラー反対運動を立ち上げたいという相談があり、始めた活動である。個人の活動でなく、市会議員や県議にも声をかけて、署名活動や冊子づくりを行っている。協議会内でも、一本化すべきという声もある。さまざまな団体やグループが住民運動としてやっていかなければ、成功しないと考えている。

◆条例の制定を今日のテーマの一つとしている。条例を制定することは難しいという市長見解であったが、条例制定をしているところはある。経産省の見解は、ガイドラインを網羅したことで条例化したらいいとのこと。条例はできないか。

意見交換での主な意見等  
◇条例を作るべきだと3月議会の一般質問で取り上げた。法律を超える条例はできないという原則がある。ガイドラインを示しているが拘束力はない。役所の見解は、どうやって阻止するかではあるが、もし勧告をクリアしてしまうと業者が作ることができる事も認識する必要がある。阻止に向けて議論を行い、いろいろな知恵をいただき、活かしていくことが大切であると考えている。

◇同じ日に一般質問をした。条例制定は困難であり、全国市長会を通して法整備を求めるといった答弁があった。全国で起きている問題なので、法整備がなされることは必要だと感じている。個人的には、自治体として禁止区域を設けるなどの方法もあるのではないかと考えている。

◇自然公園や国定公園などの根拠をもとに、禁止区域や抑制区域を設けて条例化している自治体もある。

◆市議会の中に、建設反対対策室を作る考えはあるか。

◇環境アセス等をクリアしてしまうと、許可をする側の立場であるなかで、市が反対を明確に表明すること自体が全国でも異例のことだと理解している。民間の一事業に対して、対策室等を立ち上げる予定はない。

◆環境アセス等をクリアすれば、造られてしまうと言われたが、それを聞くと不安である。市として阻止するにはどうするかが必要であるが、簡単に造られてしまうというのは、心外である。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◇環境アセス等のいろいろなハードルはあるが、これらをクリアしてしまえば造られてしまう危惧はあるということである。どうしたら阻止できるかを議論していく必要がある。

◆急傾斜地で非常に危険であると認識している。阻止に向けて一致団結することが大事で協力できる部分は協力したい。

◆山林を伐採して、もし川が氾濫したら下流域にも被害が出る可能性がある。国分隼人の人はこのことを知らない人も多い。もう少し周知して反対を広めていく必要がある。

◆大規模養豚場の時とは違い、外国資本なので話がころころ変わると感じている。ぜひ、力を合わせて阻止できる方法を探してほしい。

意見交換での主な意見等

◆農業をしている。米も美味しい。7つの調整池から3つの川に流していくということ。配達証明付きで意見を送った。業者から見解がきたが、納得できるものはない。水利組合も印鑑を押すつもりはないが、そもそも印を押すようなところがあるのか、10名ほどの団体の意見が反映されるのか心配。メガソーラーに対する反対意思の表明に、感謝している。

◇市や住民の反対運動が盛り上がっているのに、造られてしまったケースがあれば教えてほしい。反対が失敗したケースはなかなか出てこない。

◆伊東市では、市の権限である道路占有に関する許可申請を拒否したりしているが、訴訟になっているケースもある。伊勢志摩市も国立公園があり住民も反対している。